

# 九条北小学校 校長室だより

NO.38 令和5年2月6日



立春が過ぎ、季節は春に向かっていく時期となりました。九条北小学校の中庭の紅梅も咲き始めました。学校では1年間のしめくくりの学期を迎え、児童たちもがんばっています。



## ★「新1年生保護者説明会」を実施しました！★

2月1日（水）、新1年生保護者説明会を実施しました。実施にあたって、マスク着用・アルコール手指消毒等の感染症対策へご協力いただき感謝しています。

説明会では、入学までのご準備いただくことを中心にお話ししました。九条北小学校でも、新1年生が安心して楽しい学校生活をおくれるように、入学に向けて準備をすすめています。お子様のご入学を、心よりお待ちしております。

### <入学式>

日時：4月7日（金）

受付：9：30～9：45

開式：10：00

場所：九条北小学校 講堂

※ 就学通知書を受付へご提出ください。

**新1年生のご入学を心待ちにしています！**

**\*説明会でお伝えしましたが、保護者メールの登録をお願いします。**



## ★ 歩き出そう その一步が、道をひらく！ ★ \*児童朝会の話を紹介。

「歩き出そう その一步が、道をひらく」をテーマに、ある本に特集が組まれていました。最初に、こう書かれていました。「**ゆっくりでもいい、歩幅がちいさくてもいい。自分の足で地面を踏みしめていけば、きっと選んだ道はまちがいではないと思えるはずです。**」

紹介されている中に、俳優の竹野内豊（たけのうちゆたか）さんと黒木華（くろきはな）さんの対談がありました。対談は、テレビドラマ「イチケイのカラス」が映画化されることが決まったという話から始まっていました。

その映画の中で竹野内さんが演じる人物（裁判官）は、街の人たちと親しくしているゆえに、真実を明らかにすることが彼らを苦しめるのではと悩みます。でも、彼らの幸せを願うからこそ、真実を明らかにしようと「一步踏み出す勇気を」と街の人たちに語りかけるんだそうです。その行動を起こすのは、とても勇気がいったはずですが、彼の背中を押したのは、やっぱり「真実を明らかにしたい」という強い思いじゃないかなと、竹野内さんは言っていました。

その竹野内さん自身が、一步前に踏み出そうというときの経験についての話へと続きました。希望に満ちあふれて新たな一步を踏み出す人もいると思うけど、**僕は未知の世界に踏み出すときは、不安や怖さを感じます。でも、そこで踏み出さずに後悔するのがいやなんです。踏み出して失敗しても、反省してその原因を検証することで「またがんばろう」という原動力になるから。「やればよかった」という後悔は、次に何か新しいことを始めるときのエレルギーを抑えてしまう気がします。とくにこのコロナ禍で、身動きが取れない経験をしたから、「やりたいことは今やる」ことの大切さが身に染みしました。**

**「悩むより、勇気をもって、行動を起こそう。何か問題が起きたとき、その解決法を考えればよい。」**ということですね。皆さんはどうか？やりたいけど、自信がない。失敗したらどうしよう・・・とあきらめた場面はないですか。竹野内さんのように、失敗を恐れずに、チャレンジしていきたいですね。